

《ふるさと共援活動支援事業》

『大原集落』地域活性化に向けて映画会を開催！

～地域住民が一体となって活性化対策に取り組もう!!～

要 旨

11月22日(日)、福知山市三和町大原地区で農村再生ドキュメンタリー映画『ほんがら』(神迎えの松明復活に託した未来へのメッセージ)が開催されました。
 当日は、多くの女性に参加していただき映画を鑑賞し、その後、長岡野亜さん(同作品監督)と八木佛教大学教授のトークをお聞きし、地域活性化に向けて活発な意見交換を行いました。
 また、サプライズゲストとして、長岡野亜さんの映像活動の指導者である原一男監督(代表作:『ゆきゆきて、神軍』)にオブザーバーとして参加していただき、「大原の産屋は映画として後生に伝える意味と価値がある貴重な地域財産。」とのコメントも戴きました。
 今回の取り組みを通じ、これまであまり表面的でなかった女性住民の積極的な参画の機運が一気に高まり、今後、女性の皆さんのパワーを存分に発揮してもらい、活性化の具体的方策を検討していきます。

《実施概要》

○日 時 平成21年11月22日(日)午後1時～(場所:三和町大原集会所)

○参加者 地域住民53名(内、女性参加者23名)

長岡野亜氏(同作品監督)、八木佛教大学教授(民俗学)、佛教大学学生4名
 原一男氏(ベルリン国際映画祭カガリ映画賞、パリ国際ドキュメンタリー映画祭グランプリ受賞監督)

○目 的 広く住民の参加が得やすい「映画」というツールを活用し、農村再生ドキュメンタリー映画『ほんがら』の上映を通じ、これまで活性化取り組みへの参画機会の少なかった女性住民に向け、地域一体となった取り組み推進を発信し機運を高める。



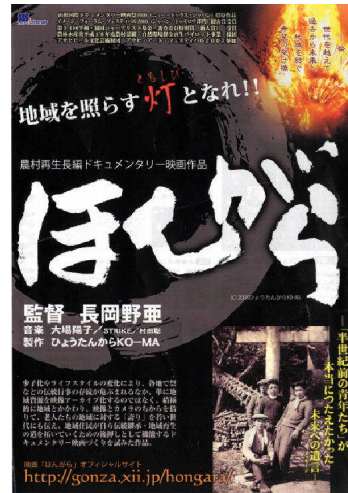
■多数の住民(約3割)の皆さんが参加してくださいました。



■長岡野亜さんと八木教授によるトークでは、「大原集落」再生に向け様々なお話を聞くことができました。



■サプライズゲストの原一男監督から、「大原の産屋は日本古来の農村の思いを伝える素材。」との言葉をいただきました。



■上映した近江八幡市島集落再生ドキュメンタリー映画「ほんがら」のパンフレット

※ふるさと共援活動支援事業は、地域住民と地域外の大学、NPO、団体等の協力者で構成する「ふるさと共援組織」の地域活性化の活動を支援しています。

※大原地区では、平成21年度より集落と佛教大学文学部が「大原うぶやの里活性化共援組織」を設立し、10年後の集落状況を見据えて地域活性化への取り組みを進めています。

